

特別支援学校の新設について

2023年8月4日
茨城県

鹿行地域の特別支援学校に関する現状と課題

現状・課題

- 特別支援学校に在籍する児童生徒の増加への対応については、2020年に「いばとくプラン」を策定し、校舎の増築などにより、不足教室の解消に取り組んでいるところ
- 一方、鹿行地域で唯一の特別支援学校である鹿島特別支援学校は、特に神栖市内からの通学に相当の時間を要することが課題となっており、去る5月には9,939筆の署名により、同市内への特別支援学校の設置についてご要望いただいたところ
- 県においては、これまでもスクールバスの運行コースの見直しや増車などの対策を講じてきたが、それでもなお、神栖市、なかでも波崎地区から通学する児童生徒の通学距離は最長約40kmと長く、通学時間の短縮が困難

対応方針

- 通学距離と通学時間の短縮を図り、通学に係る児童生徒の心身の負担を軽減するため、神栖市内に、2027年4月の開校を目指し、新たな特別支援学校を設置する。

【参考1】 いばとくプランにおける不足教室解消への取組状況

校舎の増築	2022：内原、鹿島 2023：つくば 2025：協和、結城、石岡 2026：境、伊奈、美浦
通学区域の変更	水戸飯富の一部を内原へ、土浦の一部を石岡へ

【参考2】 神栖市内のスクールバスの状況

コース数	6コース
最長運行時間	約80分
平均運行時間	約72分
最長運行距離	約40km

※運行時間
始発バス停から学校到着までの時間

新設校の概要

対象児童生徒等

- 通学区域
神栖市内
- 想定児童生徒数、学級数

	児童生徒数	学級数
小学部	約60人	約16
中学部	約40人	約11
高等部	約50人	約8
計	約150人	約35



施設概要

- 名称 **(仮称)神栖特別支援学校**
- 位置 神栖市須田地内
(神栖市若松運動場隣接地・市有地)
- 建物 校舎 約7,200㎡
体育館 約1,075㎡

- 開校目標時期 **2027年4月**

2023	2024	2025	2026	2027
設計		工事		開校

※ 2023(R5)9月補正予算に設計費の計上を検討

学校新設の効果

神栖市内の多くの地域において通学距離、通学時間が改善

- 児童生徒の最も長い通学距離・通学時間が、約40km・約80分から約20km・約40分に。
(概ね半減)
- 神栖市内のスクールバスの全運行ルートが、約72分から約33分に。
(概ね半減)

学校までの距離の比較



最も遠いところ
からの通学距離
約20km短縮

※通学経路の矢印は、
便宜上直線で表現

